

## 北陸新幹線開業に伴う並行在来線各社の状況

		IRいしかわ鉄道(株) 	あいの風とやま鉄道(株) 	えちごトキめき鉄道(株) 	しなの鉄道(株) 		道南いさりび鉄道(株) 	
概要		別紙1のとおり					別紙2のとおり	
区間		IRいしかわ鉄道線 金沢～倶利伽羅	あいの風とやま鉄道線 倶利伽羅～市振	日本海ひすいライン 市振～直江津	妙高はねうまライン 直江津～妙高高原	北しなの線 妙高高原～長野	しなの鉄道線 軽井沢～篠ノ井	道南いさりび鉄道線 五稜郭～木古内
路線形態		複線・電化	複線・電化	複線・電化	単線・電化	複線・電化		単線・電化
1日平均乗車人員		H27上半期 26,368人 (需要予測 22,639人) ※1	H27上半期 42,283人 (需要予測 40,200人) ※2	H27上半期 11,794人 (需要予測 10,487人) ※3	H27上半期 12,977人 ※4	H27上半期 29,667人 ※4	②調査 2,256人	
1日平均輸送密度		— (需要予測 13,650人/日)	H27上半期 7,900人/日 (需要予測 7,383人/日)	— (需要予測 1,917人/日)	— (需要予測 3,620人/日)		②調査 643人/日	
開業後の 主な取組	イベント	駅スタンプラリー	高架ホーム見学会、ファンクラブ会員限定見学会、スタンプラリー、写真コンテスト	鉄道運転士体験イベント、写真コンテスト、駅からウオーキング	ファンクラブ会員限定イベント(駅構内車両入換体験)、北しなの線開業記念イベント(観光列車「ろくもん」の初乗り入れ)		【経営計画】 ・沿線地域主体利用促進協議会の設置 ・沿線市町の地域振興策との連携、新幹線開業とのタイアップ、沿線地域の観光資源なども活かした利用促進策の検討 ・道南地域を周遊する観光客の利用を取り込むため、JR北海道やバス会社等と連携した企画乗車券の発行の検討 等	
	サービス向上	イベントにあわせた臨時列車の運行、観光列車「花嫁のれん」の運行(JR西日本連携)、パーク&ライド駐車場の整備	交通ICカード導入、ダイヤの見直し(富山駅での直通列車増便等)、朝夕の通勤通学時間帯の混雑対応(車両増車、列車増発)、主要駅でのWiFi環境整備	イベント列車(ジャズ演奏)の運行、他言語版沿線パンフレット作成	観光列車「ろくもん」の運行、開業時、普通列車を従前比で1往復増発			
	企画切符	能登ふるさと博フリーきっぷ、あいの風・IRいしかわ鉄道共通1日フリーきっぷ、北陸トライアングルルートきっぷ	中学生往復ホリデーパス、1日フリーきっぷ、市町イベントタイアップきっぷ、あいの風・IRいしかわ鉄道共通1日フリーキップ	しなの鉄道との共同企画フリーキップの発売、トキめきホリデーフリーパス(土日祝日等)、JR特急(しらゆき)との連絡切符	えちごトキめき鉄道との共同企画フリーキップの発売、高齢者を対象とした割安なシルバーフリーキップの発売			
	その他		新幹線利用者向けに三セク線ホームを通過可能となるよう整備(4/20～)	・北陸新幹線「はくたか577号」(上越妙高駅22時06分着)からの接続改善(10月～)。 ・サイクルトレイン導入実証事業(11月～)	・開業時、普通列車を従前比で1往復増発			

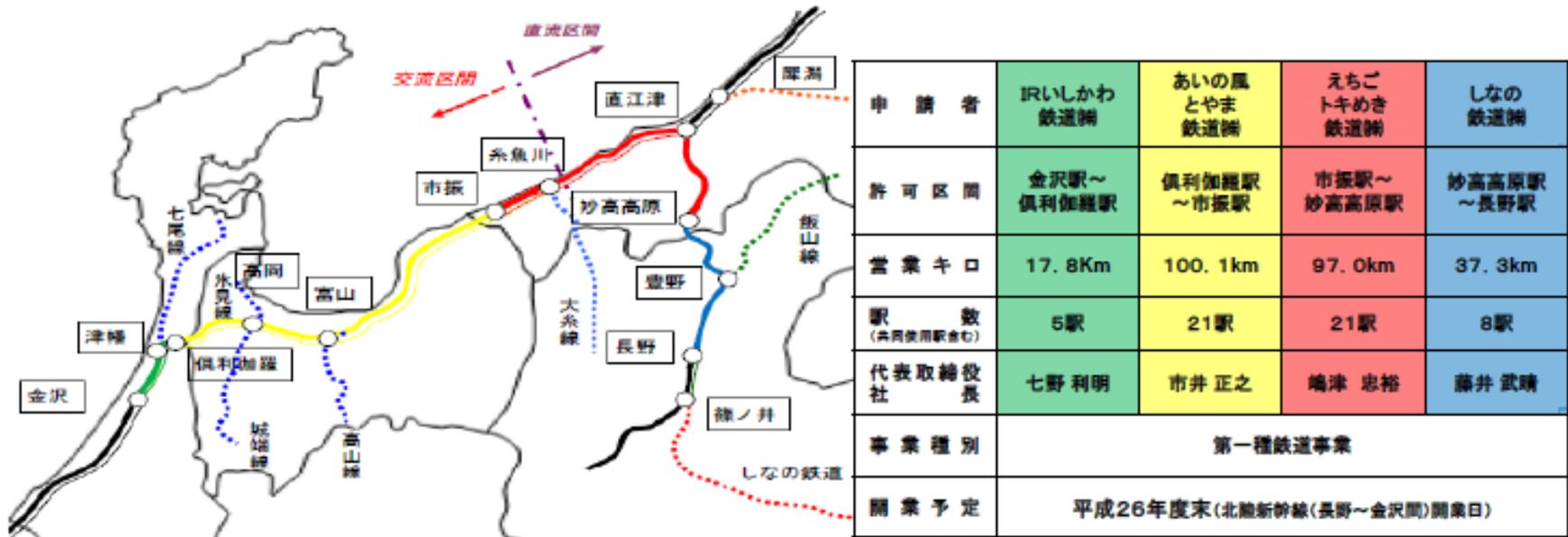
※1 平成27年11月18日付け北国新聞及び石川県企画振興部新幹線・交通対策監室交通政策課への聴き取りによる。

※2 平成27年11月16日付けあいの風とやま鉄道株式会社発表資料による。

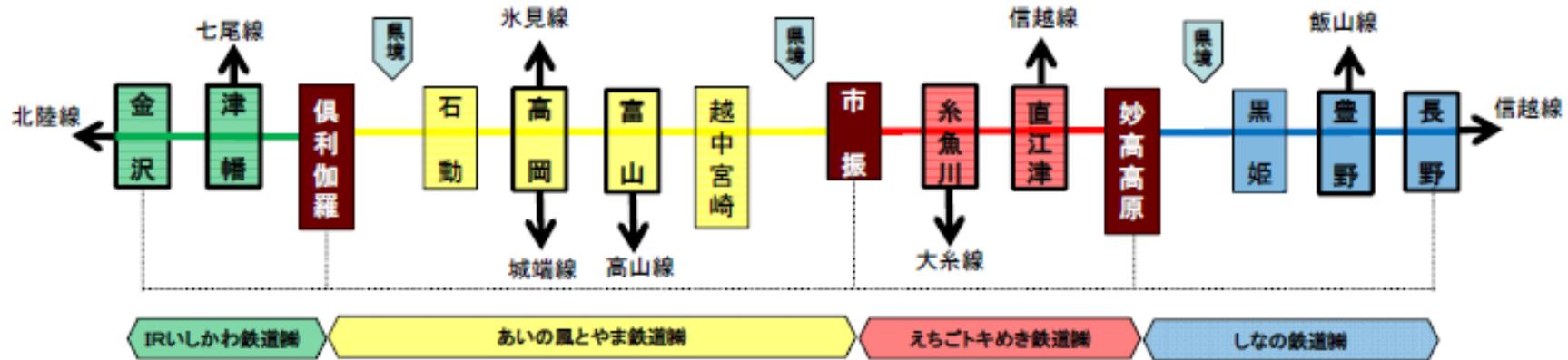
※3 平成27年11月12日付けえちごトキめき鉄道株式会社発表資料による。

※4 平成27年11月26日付けしなの鉄道株式会社発表資料による輸送人員を4月から9月の営業日数(183日)で除した人数とする。

別紙1 (北陸新幹線開業に伴い新たに鉄道事業許可を取得した並行在来線各社)



並行在来線各社の許可申請区間



※   は、並行在来線会社間の共同使用駅

※平成26年2月28日付け国土交通省北陸信越運輸局公表資料(北陸新幹線延伸開業に伴う並行在来線に係る鉄道事業許可について)より抜粋

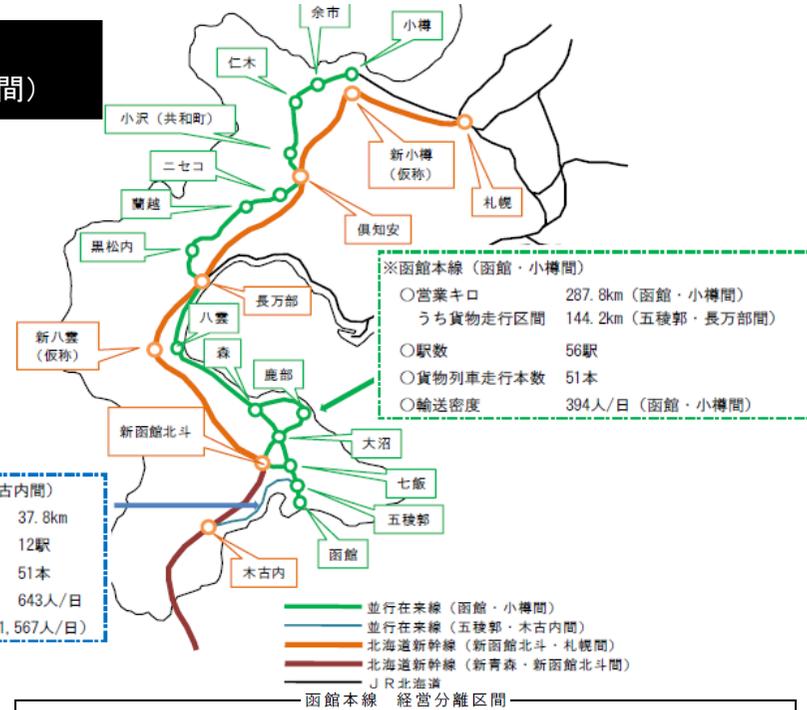
# 別紙2(北海道新幹線開業に伴う並行在来線区間)

## 江差線 (五稜郭・木古内間)

三セツ鉄道会社経営区間  
五稜郭・木古内間



## 函館線 (函館・小樽間)



※江差線(五稜郭・木古内間)  
 ○営業キロ 37.8km  
 ○駅数 12駅  
 ○貨物列車走行本数 51本  
 ○輸送密度 643人/日  
 (上磯・五稜郭間 1,567人/日)

※函館本線(函館・小樽間)  
 ○営業キロ 287.8km(函館・小樽間)  
 うち貨物走行区間 144.2km(五稜郭・長万部間)  
 ○駅数 56駅  
 ○貨物列車走行本数 51本  
 ○輸送密度 394人/日(函館・小樽間)

— 並行在来線(函館・小樽間)  
 — 並行在来線(五稜郭・木古内間)  
 — 北海道新幹線(新函館北斗・札幌間)  
 — 北海道新幹線(新青森・新函館北斗間)  
 — JR北海道

